

南大隅町根占地区(コミュニティハウス「いっでん^きだいでん^か来やん家」)

(鹿児島県南大隈町)

(構成：社会福祉法人，NPO 法人，自治会，
ボランティア団体，地域住民)

《活動主体の概要》

総人口： 5,658人

高齢者数： 2,336人(高齢化率41.3%)

世帯数： 2,812世帯

産業構造： 1次産業 33.0%、2次産業 14.8%、3次産業 52.2%

地理的構造：町の中心部にあり，小中学校，役場，銀行，郵便局等の機関・施設が
近距離に集約された地域である。名称の由来：鹿児島弁で「いっでん」(いつでも)、「だいでん」(だれでも)、「来や
んか」(来てください)から命名

活動のきっかけ

社交的な性格で友人も多かったAさんが、高齢に伴う体調不良や独居の心配等から、子供のもとへの転居を検討していたところ、地域で高齢者支援を行っていた社会福祉法人の代表の方から、地域住民の憩える場として自宅開放を提案され、地域住民の方に楽しんでもらえる場になればと、社会福祉法人の代表の方の支援のもと、仲間と一緒にボランティアで、地域住民向け交流サロンを立ち上げることとなりました。

平成27年度からは、活動を支援してきた社会福祉法人が建物と土地を買い上げ、これまでの活動をされていたAさんを管理人に委嘱し、県と町の補助事業を活用して、地域との結びつきを強くし、生きがいを持って暮らせることを目指し、誰にとっても出番と居場所のある安心・安全な場の創造、共生社会の実現、にぎわいの創出に向けて、今年度は、活用しやすいようにと建物の改修や運営体制づくりを目指しています。

活動方法

「いっでんだいでん来やん家」では、仲のいいグループで集まって、各自宅から手作りのお菓子や、料理を持ち寄り、台所で昼食の支度をして、お茶会や、お楽しみ会をしながら、時間や周りの人に気がねする

ことなく楽しい時間を過ごしています。

また、「いっでんだいでん来やん家」の庭に作った運動場では、子どもからお年寄りまで楽しめる遊び場として、高齢者がウォーキングを楽しむ場(100mの周回コース)や保育園児の園外活動の場、小学生の放課後の遊び場として活用されていて、多世代での交流が図られています。

また、NPO法人との連携のもと、健康教室や子育ての母親のリフレッシュのため、ヨガ体験教室(教室中は隣室で保育士が子どもの世話を実施)にも活用されています。

「いっでんだいでん来やん家」を運営する社会福祉法人を中心に、NPO法人やボランティア団体と連携して、利用される高齢者や近隣の高齢者を通じ、声かけや安否確認を行っています。

今後は、入浴、買い物等の外出時の日常生活支援や、子どもの学習支援、元気な高齢者の働き場(役割)の提供、認知症カフェ拠点づくり等への取り組みも目指しています。

工夫点

「いっでんだいでん来やん家」は自宅開放型の地域住民の交流拠点施設であるため家主が管理者として、常駐している状態となっているため、常時開放されている状

態となっています。

平成27年度からは、活動を支援してきた社会福祉法人が建物と土地を買い上げ、これまでの家主を管理人に委嘱し、これまでの活動を更に発展させ、地域の元気な高齢者が、幾つかのグループで分担して、「いっでんだいでん来やん家」を運営し、地域に必要なサービスを提供できる体制を目指しています。



成果

「いっでんだいでん来やん家」の利用者が、数字を取り始めた平成27年5月から12月末までの約8ヶ月間で、仲良しグループの訪問（サロン活動）や、健康教室、保育園児の訪問等48回で延べ350人が利用しています。

もともと仲の良かった友人が、個人的に訪問した人数の延べ568人を加えると月に約100名の利用者となっています。

「いっでんだいでん来やん家」が、高齢者と地域の人々の結びつきを強くし、高齢者が地域とつながり、交流のある生活を送れる「居場所」となりつつあります。

課題

「来やん家」を拠点に、住民である利用者とボランティアが協働で企画し内容を決め、一緒に運営をしていくという楽しい仲間づくり活動として、

- 1 利用者は、単にお客様でなく、集まった一人ひとりが主役となれる みんなの「来やん家」を作りたい。～今日も楽しかった～
- 2 無理なく活動できるプログラムを作り、

ちよくちよく出かけていける「来やん家」を作りたい。～また、ここに来たい～

- 3 いっでん だいでん立ち寄れて、いつでも帰ることができる気安い「来やん家」を作りたい。～出番があり、居場所のある一日を過ごしたい～

の環境づくりを継続して進めていくことが今後の課題です。

代表者、事業者等の声

仲間づくりは、構えず、気楽に取り組めるもので「こんな“来やん家”を作ってみんなで集まり、楽しもうよ」と声をかけあって作っていただけるものです。世話好きな人や仲間づくりがうまい人などが、周りに声掛けをすれば、いっでんだいでん利用しやすい「来やん家」が生まれます。活動開始に向けて、心配なこと、困難なことがあれば、相談にのり、支援もできます。

その他

運営活動の中心である社会福祉法人（保育園等経営）のノウハウを生かして

ヒトの活用・・・0歳児から6歳児187名とのふれあいができます。様々な資格を持ち、やる気のある職員が65名います。

モノの活用・・・陶芸をしたり、ピザを焼いたりできる窯が使えます。動物ランド（ポニー、やぎ、うさぎ、烏骨鶏、かめ）があります。大型バス、8人乗りの車があります。

カネの活用・・・高齢者から余分にいただくわけにはいかないの、利用者に最小限の負担をしていただく。

